

令和5年度 第5回

希望郷いわてモニターアンケート

特殊詐欺に関する意識調査結果

令和6年2月

岩手県警察本部生活安全企画課

特殊詐欺に関する意識調査結果

岩手県警察本部生活安全企画課

I アンケート調査の概要

1 調査の趣旨

令和4年中の、岩手県内のオレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺被害の認知件数は37件、被害額は約1億円に上ります。

岩手県警察では、特殊詐欺被害を防止するため、関係機関と連携して各種対策に取り組むとともに、多様な媒体、機会において広報啓発活動を行っているところですが、今後の取組の参考とするため、今回皆様にアンケートを実施したものです。

2 調査期間

令和5年12月12日（火）～令和6年1月4日（木）

3 調査方法

調査紙郵送及びインターネット

4 調査対象

令和4、5年度希望郷いわてモニター 196名

5 回答者数

156名

6 回答者属性

(1) 年齢

～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
7	20	15	30	41	43

(2) 性別

男性	女性	その他・答えたくない
71	84	1

(3) 職業

①会社経営・役員	②会社員	③団体職員	④自営業・自由業	⑤農林水産業
6	25	13	17	10
⑥パート・アルバイト	⑦主婦・主夫	⑧学生	⑨無職	⑩その他
21	24	0	35	5

Ⅱ アンケート調査の結果

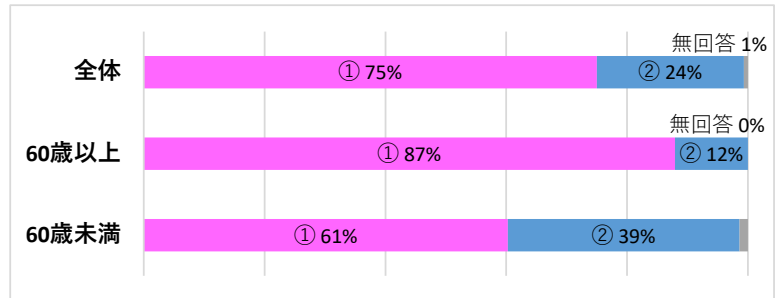
【電話対策の状況】

問1 特殊詐欺被害の多くが、自宅固定電話機への犯人からの連絡をきっかけとする被害であることから、警察では犯人からの電話に出ないための対策として、ナンバーディスプレイ機能や留守番電話機能の活用、防犯機能付き電話機※の設置を呼び掛けています。

(1) 自宅に固定電話機を設置していますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① ある（(2)に進んでください。）
- ② ない（問2に進んでください。）

	①	②	無回答
全体	117	38	1
60歳以上	73	10	0
60歳未満	44	28	1

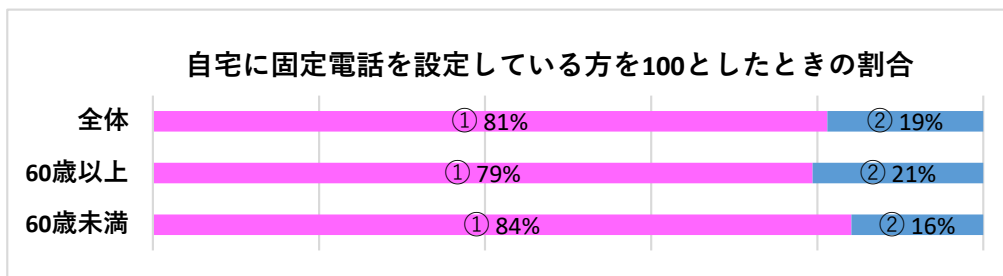


(2) (1)で「①ある」と回答した方に伺います。設置している電話機に留守番電話機能がありますか。

当てはまるものを1つ選んでください。

- ① ある（(3)に進んでください。）
- ② ない（問2に進んでください。）

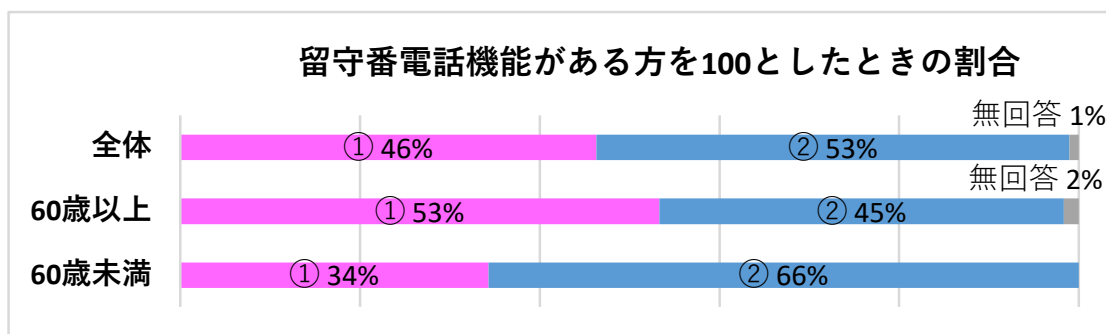
	①	②
全体	95	22
60歳以上	58	15
60歳未満	37	7



(3) 警察では、在宅時でも留守番電話の設定を行うように呼び掛けていますが、特殊詐欺被害防止のために常時留守番電話に設定していますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① している。
- ② していない。（(4)に進んでください。）

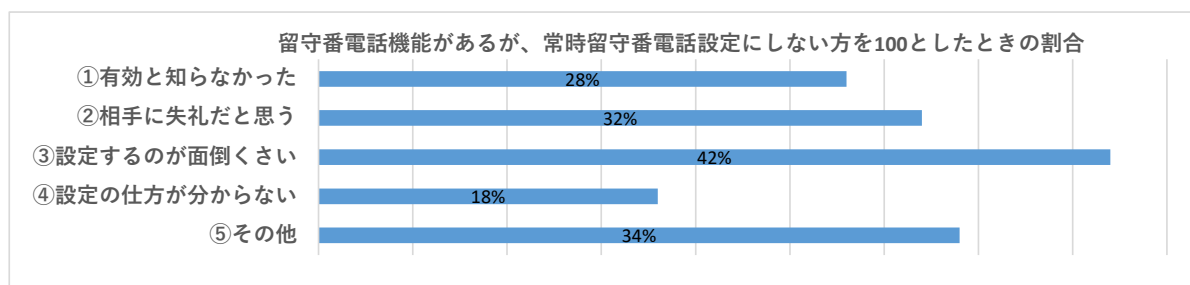
	①	②	無回答
全体	44	50	1
60歳以上	32	27	1
60歳未満	12	23	0



(4) (3)で「②していない」と回答した方に伺います。常時留守番電話の設定にしていない理由はなんですか。当てはまるものを全て選んでください。(複数回答可)

- ① 留守番電話が特殊詐欺被害の防止に有効と知らなかったから。
- ② 留守番電話にしていると電話をかけてきた相手に失礼だと思うから。
- ③ 留守番電話の設定にするのが面倒くさいから。
- ④ 留守番電話の設定の仕方が分からないから。
- ⑤ その他

	①	②	③	④	⑤
全体	14	16	21	9	17
60歳以上	7	8	8	8	11
60歳未満	7	8	13	1	6



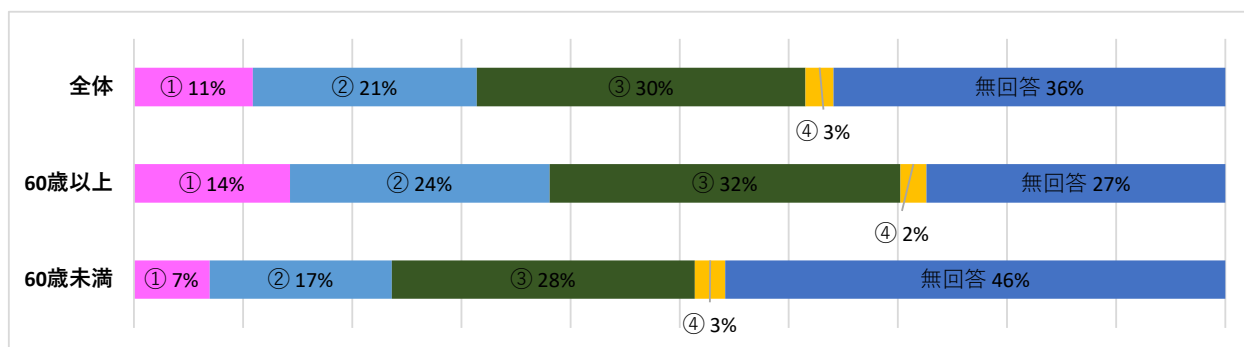
【その他に寄せられた意見】

- ・携帯電話があるため、固定電話の利用がそもそも少なく、留守電にする必要性を感じられないため。携帯普及前は常時留守電設定にしていた。
 - ・詐欺か詐欺でないか判別可能なため。
 - ・基本、電話には出たいと考えているから。
 - ・逆に留守であることがバレて泥棒に入られないようにするため。【同様意見複数】
 - ・電話をかけてきた相手が本当に留守だと思って途中で切ってしまい相手の方が何回もかけ直すことがある。
 - ・仕事の電話が入るため。
 - ・固定電話にかけてくる人は、だいたい決まっているし、知らない人などからの電話だったら切ればいいと思っているから。
 - ・留守電にしなくても対応出来るから。
- など。

(5) NTT 東日本では特殊詐欺被害防止の取組として、令和5年5月からナンバー・ディスプレイやナンバー・リクエストの無償化等の取組を行っていますが、この取組内容を知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 取組内容や適用条件なども知っている。
- ② 取組をしていることは知っているが、詳しくは知らない。
- ③ 全く知らない。
- ④ 既に利用している。

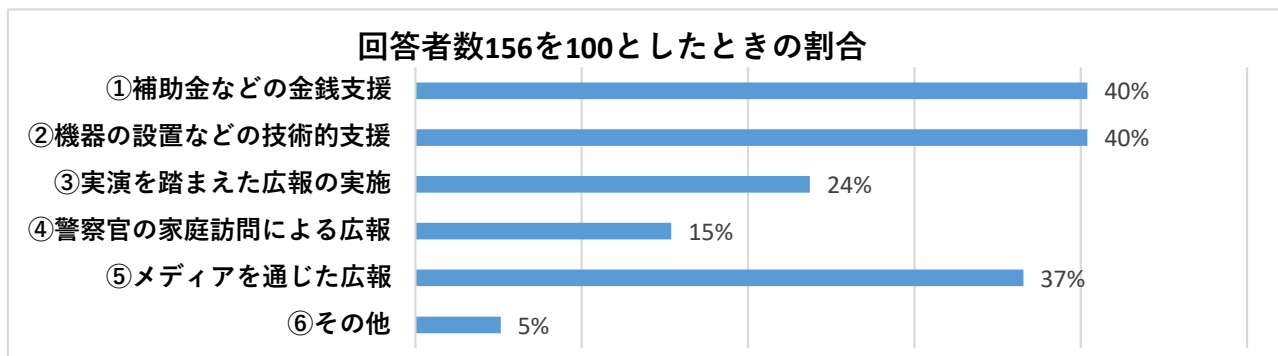
	①	②	③	④	無回答
全体	17	32	47	4	56
60歳以上	12	20	27	2	23
60歳未満	5	12	20	2	33



(6) 防犯機能付き電話機を普及させるためにはどのようなことが必要だと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。(複数回答可)

- ① 購入に対する補助金などの金銭的支援
- ② 機器の設置や使用方法に関する技術的支援
- ③ イベント会場での活用方法などの実演を踏まえた広報の推進
- ④ 警察官の家庭訪問時における広報の実施
- ⑤ テレビCMやラジオなどメディアを通じた広報の実施
- ⑥ その他

	①	②	③	④	⑤	⑥
全体	63	63	37	24	57	8
60歳以上	39	40	23	16	39	5
60歳未満	24	23	14	8	18	3



【その他に寄せられた意見】

- ・特殊詐欺の場合、警察官を名乗る事もあるので警察の取り組み方も考慮してほしい。
- ・①に関しては、色々の家庭があるので一律ではないと思うので、きちんと規則を作り出発しないと支援が無駄になるのではと思います。
- ・携帯会社との連携、携帯会社の店舗には高齢者がたくさん来ている。手続きなどのついでに広報してもらってはどうか。ふるさと納税をついでに広報しているのだから詐欺対策も広報できるのではないか。
- ・法人も適応するべきである。法人にも個人と同様な内容の電話が来るらしい。

など。

【特殊詐欺被害防止広報CM等について】

問2 岩手県警察では、高齢者をはじめとした幅広い世代に「詐欺に気づく力」を身につけていただくため、令和5年6月から、元プロボクシング世界王者八重樫東氏と大相撲伊勢ノ海部屋錦木徹也氏を起用した特殊詐欺被害防止テレビCMを放送しています。

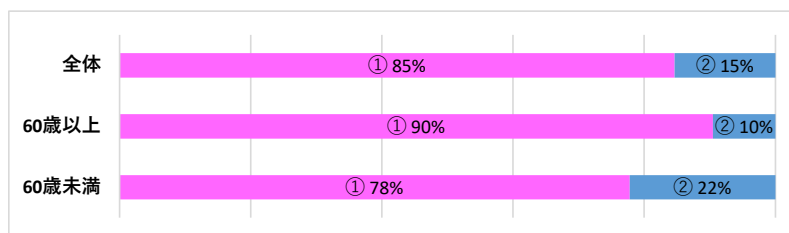


(1) アンケート前、本テレビCMを見たことはありましたか。

当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 見たことがある。(2)へ進んでください。
- ② 見たことはない。(3)へ進んでください。

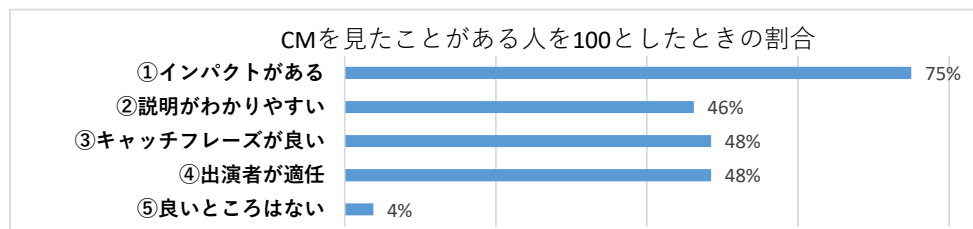
	①	②
全体	132	24
60歳以上	76	8
60歳未満	56	16



(2) (1)で「①見たことがある」と回答した方に伺います。テレビCMに対する印象で当てはまるものを全て選んでください。(複数回答可)

- ① インパクトがある。
- ② 説明（ナレーション、字幕）が分かりやすい。
- ③ キャッチフレーズ（「いわて防衛」「家族で防衛」）が良い。
- ④ 出演者が適任である。
- ⑤ 良いところはない。

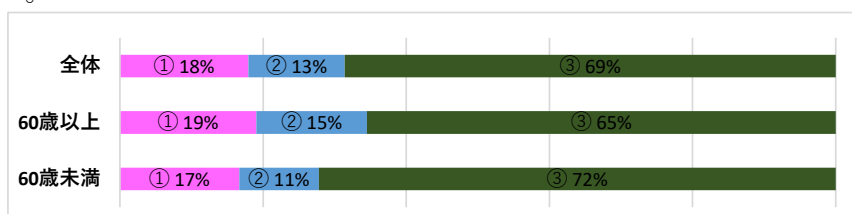
	①	②	③	④	⑤
全体	99	61	64	64	5
60歳以上	54	39	41	41	4
60歳未満	45	22	23	23	1



(3) 岩手県警察では、幅広い世代へ広報を行うべく、本テレビCMと連動した広告や動画を動画投稿サイトの YouTube(ユーチューブ)や Instagram(インスタグラム)、LINE(ライン)に掲載していますが、アンケート前にこれらの広告等を見たことがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 見たことがある。
- ② 見たことはないが、家族や知人から話を聞いたことはある。
- ③ 見たことも聞いたこともない。

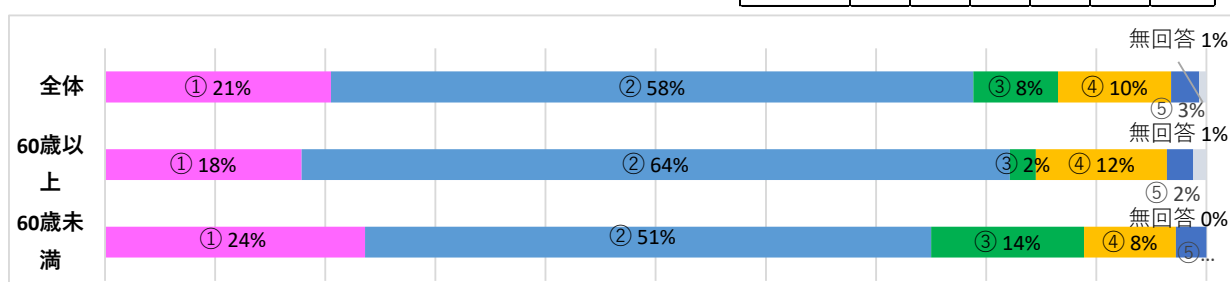
	①	②	③
全体	28	21	107
60歳以上	16	13	55
60歳未満	12	8	52



(4) 今後、特殊詐欺被害防止のテレビCMを制作する際に、どのようなCMだと特殊詐欺被害防止に効果的だと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 特殊詐欺の被害額や脅威を伝え、危機感に訴えるようなCM
- ② 特殊詐欺の具体的な手口を紹介し、防止するための対策を伝えるCM
- ③ 家族の見守りなど「優しさや絆」で詐欺を防ごうと広報するCM
- ④ 特殊詐欺対策に関心を持ってもらえるような話題性(インパクト)を重視したCM
- ⑤ これまでのキャッチフレーズ(「いわて防衛」「家族で防衛」)を使用したCM

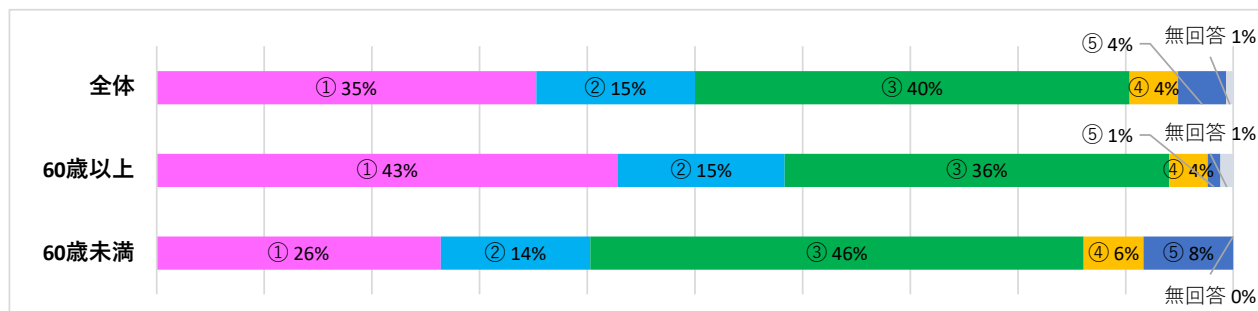
	①	②	③	④	⑤	無回答
全体	32	91	12	16	4	1
60歳以上	15	54	2	10	2	1
60歳未満	17	37	10	6	2	0



(5) 今後、特殊詐欺被害防止のテレビCMを制作する際に、どのような出演者(キャラクター)が適任だと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 被害に遭っている割合の多い高齢者
- ② 家族での見守りを印象づけるため、子どもや子育て世代の家族
- ③ 岩手県出身や岩手県に縁がある著名人
- ④ 岩手県のご当地キャラクター(わんこきょうだいなど)
- ⑤ アニメやイラストなどで描かれたオリジナルのキャラクター

	①	②	③	④	⑤	無回答
全体	55	23	63	7	7	1
60歳以上	36	13	30	3	1	1
60歳未満	19	10	33	4	6	0



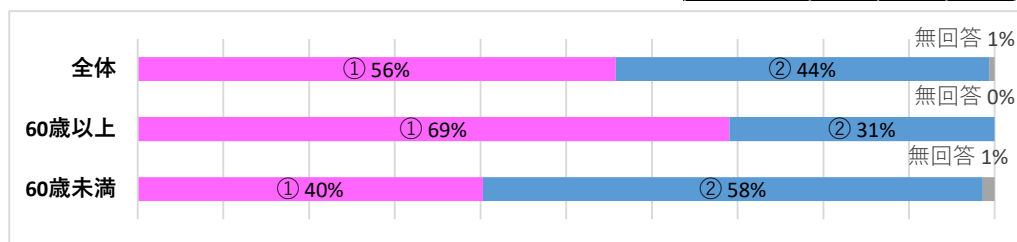
【その他の特殊詐欺被害防止対策について】

問3 全国的に国際電話番号*による特殊詐欺電話が急増しており、岩手県内においても国際電話による特殊詐欺の電話が確認されているため、国際電話番号に出ない、かけ直さないように注意を呼び掛けています。

(1) 国際電話番号による特殊詐欺が急増していることを知っていましたか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 知っている。(2)に進んでください。)
- ② 知らなかった。(問4に進んでください。)

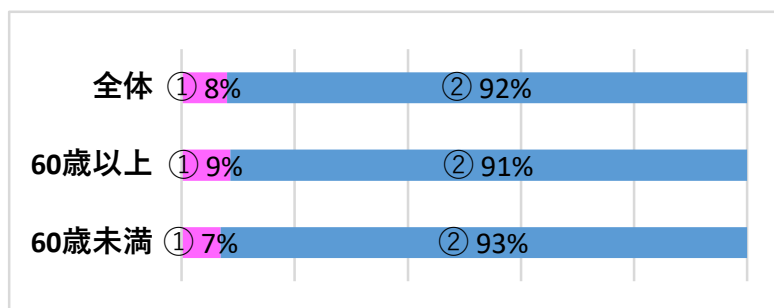
	①	②	無回答
全体	87	68	1
60歳以上	58	26	0
60歳未満	29	42	1



(2) (1)で「①知っている」と回答した方に伺います。固定電話やひかり電話を使用している場合で、海外との電話が不要な場合は、「国際電話不取扱受付センター」に申込をすれば、無償で発信・着信を休止することができますが、「国際電話不取扱受付センター」を知っていましたか。

- ① 知っている。
- ② 知らなかった。

	①	②
全体	7	80
60歳以上	5	53
60歳未満	2	27



問4 岩手県警察及び各金融機関では、ＡＴＭに誘導された被害者に気付きの機会を提供するとともに、携帯電話で通話しながらＡＴＭを操作する方への声掛けを促すために、ＡＴＭコーナーに「ＳＴＯＰ！ＡＴＭでの携帯電話」チラシ（右イラスト）を掲示しています。

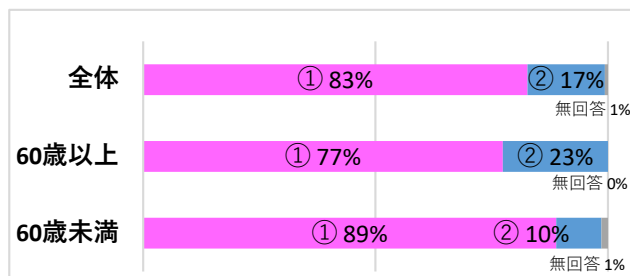


また、各窓口では警察からの要請により、被害が疑われる場合にはお声掛けして、取引の経緯などをお伺いし、必要に応じて警察官と面接させていただいています。

(1) ＡＴＭコーナーで「ＳＴＯＰ！ＡＴＭでの携帯電話」チラシを見たことはありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 見たことがある。
② 見たことはない。

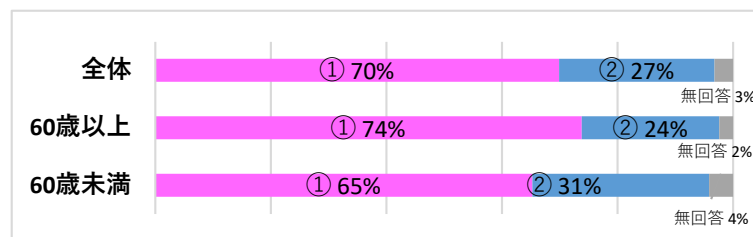
	①	②	無回答
全体	129	26	1
60歳以上	65	19	0
60歳未満	64	7	1



(2) 金融機関の窓口で、特殊詐欺の被害防止のための声掛けを行っていることを知っていましたか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 知っている。
② 知らなかった。

	①	②	無回答
全体	109	42	5
60歳以上	62	20	2
60歳未満	47	22	3

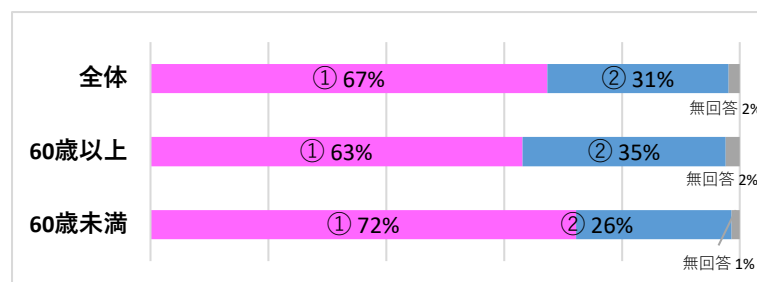


問5 近年、電子ギフト券（ＰＯＳＡカード）の利用権をだまし取る特殊詐欺被害が増加しており、コンビニエンスストア等での購入希望者に対して、店員から声掛けを行ってもらうなどの対策を実施しています。

(1) 電子ギフト券（ＰＯＳＡカード）の利用権をだまし取る特殊詐欺の手口があることを知っていましたか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 知っている
② 知らなかった

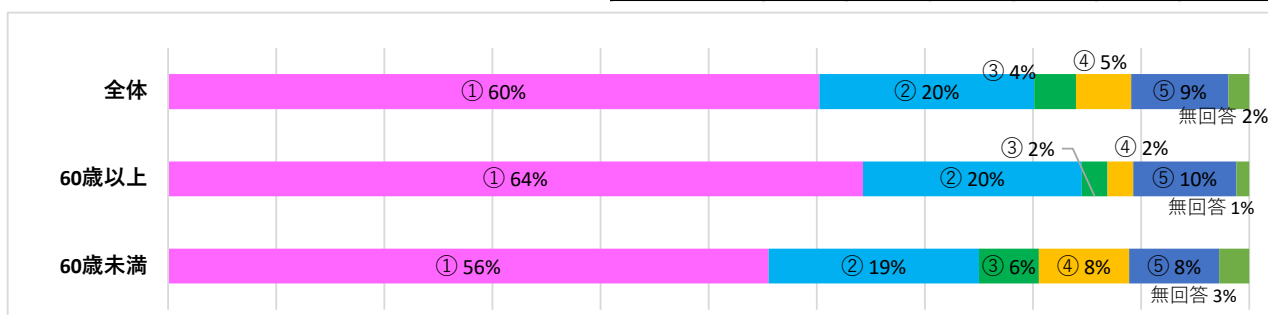
	①	②	無回答
全体	105	48	3
60歳以上	53	29	2
60歳未満	52	19	1



(2) 今後、更なる取組を実施するとしたらどのような取組が効果的だと思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 一定金額以上の電子ギフト券を購入する際の全件通報制度の導入
- ② 電子ギフト券購入者に対する詐欺被害防止啓発用の袋や封筒の配布
- ③ 未然防止功労者マイスター制度（一定期間に一定の未然防止を行った者をマイスターと認定し、表彰や記念品を贈呈する制度）の導入
- ④ 未然防止功労者に対する謝礼制度（ギフトカードの贈呈など）の導入
- ⑤ その他

	①	②	③	④	⑤	無回答
全体	94	31	6	8	14	3
60歳以上	54	17	2	2	8	1
60歳未満	40	14	4	6	6	2



【その他に寄せられた意見】

- ・電子ギフト券自体に目立つ様に詐欺への警告を記載してもらう。
- ・電子ギフト券制度そのものを廃止する。【同様意見複数】
- ・ラジオ(IBC)番組内での積極的なPR・広報活動をする。(高齢者はIBCラジオを聴いてる人多し)
- ・アルコールを買う時、画面をタッチし年齢確認するシステムになっているが、ギフト券のときも「サギではないですか？」と確認したらいかがでしょうか。
- ・健康診断や免許の書き換えなど公的な手続きをする際に話をする。あるいはチラシを渡して説明する。など。

【対策・広報全般について】

問6 今後、特殊詐欺被害をなくすために、岩手県警察にはどのような対策、広報が求められると思いますか。御意見・御要望を御自由にお書きください。

- ・固定電話を処分したら金一封！！
- ・特殊詐欺被害増えています。様々な取り組みをしているようですが、今後も高齢者でもわかりやすい対策や説明をお願いします。
- ・警察にはそれなりの部や係があると思いますので、しっかりやってほしいと思います。
- ・対面での周知
- ・NTT 東日本の被害防止対策のPRと普及
- ・とにかく色々な詐欺方法を繰り返し警告していくことが必要だと思う。今から特に怖いと思うのが、テレビ電話で知人を装ったAIを使った詐欺。この手口の詐欺を知っているかどうかで被害は減らせると思う。
- ・電話転送システム（変だと思ったら番号を押したら警察につながる）
- ・地域で集まった時、チラシだけでなく寸劇を用いての楽しみながら理解を深める。

【つづき】

・特殊詐欺の手口が次第に巧妙化している反面、場当たりの方法も伝えられ、犯罪意識の希薄性も感じられます。詐欺行為自体、軽視されているように思われます。SMS のヘイト行為同様、重い犯罪である事を認識させる教育制度も必要と思います。

・問2のCMですが、強すぎて逆に詐欺する方に威圧しているようになるのではないのでしょうか？サギに騙されるのは女性が多い、特に60代以上。騙す方ではなく、騙される方に気付きを与えるようなCMがほしいと思います。

・具体的な手口の紹介と、具体的な対処の仕方を知ってもらうことが必要だと思う。「〇〇と言われたら詐欺だから電話を切って良い」「電話を切って、〇〇に連絡してみる」「〇〇というメールは詐欺だから全て無視して良い」など。また、ATMで携帯電話の通話がダメと言うよりも、電話でATM操作を教えてくれる人は詐欺で預金を奪い取ろうとしているのだということを知ってもらった方が良いのではないかと思います。

・高齢者が1人で銀行やATMに行けないようにする。

・ATMコーナーや電子ギフト券を置いている場所等で音声による啓蒙ができれば良いと思います。

ATMで振り込む際には誰に振込むか相手は確認したか、振込みについて相談したか等のアンケート様式で用意し設置することで振り込み前に本当に大丈夫であるかチェックしてもらうようにする。

・いろいろな情報が拡散されている現在でも、やはりアナログ的な人も多いと思います。視覚的な感覚の方が情報を受けやすいのではと思います。ニュース的番組の後に定期的な情報番組があったりすると、目と耳に残るのではないのでしょうか。

・被害の事例をチラシで知らしめる（全戸配布）（よくあるケースを）（被害にあった方の状況を）

・若い世代、慎重な人、どんな人でも詐欺被害に合ってしまう可能性はあると思います。まずは自分のまわりで家族や地域の人などまわりの人とコミュニケーションをとれる環境を築いていきたいです。

・出前講座の開催、詐欺の手口を知る、対処の仕方、どこに相談すればいいのか教えてほしい。

・家族や地域、さまざまな場面でのコミュニケーションの促進活動をお願いしたいです。

・恐怖や不安を煽るのではなく、信頼と安心からの対策を考える時期なのではないのでしょうか。県警の方々がご高齢の方々の大勢集まる場所や個人宅へ出向かれて、やさしく語りかけてくださるのも大切な気がします。

・情報過多な時代において、人が人に伝えるコミュニケーションに立ち返る。コミュニケーションという観点でいえば、そもそも特殊詐欺に遭われる方は、日常的に他者とのコミュニケーションをどのようにとられているのかという点が気になります。

・絶対私は大丈夫と思っている人が結構騙されている事、お金がないから大丈夫と思っている人、女性の方が子どもかお孫さんにお金が必要だと言われると何とか工面してやりたいと思う事など借金してでも騙されてしまう事など、地域でのサロン、集金等がある時に警察署の方から、お話をさせていただく事、地域での取り組みが必要。

・新聞やテレビなど一般的広報啓発は限界に近いと思われる。今後は個別・個人や（グループなど）的な啓発が必要と考えます。

【つづき】

- ・実際に高齢者宅をまわり啓蒙活動をする。昔と違い、今は交番駐在員が誰なのか分からなくなっている。顔をつきあわせる事で認知してもらい、高齢者が安心して相談しやすくなるのではないかな。
- ・特殊詐欺は、自分は大丈夫と思っている人ほど詐欺に遭ってしまうと聞きます。何かの会合があったら、時間をもらって具体的な詐欺の例を出すと、出席している人同士で話題にもなって意識にインプットされると思います。
- ・テレビやインターネット上での詐欺被害に遭わないための広報と、取り締まりの強化を引き続き頑張っていただければと思います。
- ・詐欺を防いだ人の表彰だけでなく被害の実態を詳しく紹介してほしい。「警察 24 時」というような番組でも取り上げてほしい。
- ・テレビの CM やチラシなど目にするし、気にはするが心の中までは届かない（具体的に理解できない）。地域の交番の方とかの話はよく聞こうとするので老人世帯や独居世帯の訪問の際に対面で話をしてもらうのがいいのかと思います。（電子ギフト券などの実物も見せながら）
- ・八重樫元プロボクサーや錦木関のような有名（タレント）人の CM が効果的だと思います。
- ・特殊詐欺被害を防いだ方へのインセンティブ設計（※損得に対する感情を利用して、人の行動を特定の方角に導く工夫）が求められると思います。
- ・こんな詐欺事件が、今、この時間に発生してますよ。市の広報などで、すぐに放送してもらえばとても良いことだと思います。
- ・高齢者が身近な人に相談できる環境づくりが大切だと思いますが、難しい場合、「ここに気軽に相談して！」という場所と人がいれば良いかなと思います。
- ・近頃、固定電話が減り、携帯電話が増えている。周りではどこからかかって来るか不安なので固定電話には出ないと言う声が多く聞かれる。携帯でも、着信拒否とかの機能がある事を普及させ詐欺を防げれば良いと思う。
- ・①（高齢者）＋（ATM）＋（携帯電話）＝（詐欺）②（高齢者）＋（電子ギフト券）＝（詐欺）③ATM 設置機関への見回り活動◇「行員と高齢者（男）」の見回り活動◇高齢者（男性）は、（ボランティア活動）とする。◇ATM 設置場所の前に高齢者用の椅子と見張り活動。◇コンビニでの購入（電子ギフト券）で声かけをする。
- ・対策は充分に出来ていると思いますので、還付金があるとかお金がもらえるなどの電話はすべて詐欺なのですぐ電話を切る宣伝をするのではないかと思います。
- ・高齢者の集まりや、地域行事など、高齢者が集まる場所で、どんな電話が詐欺なのか、どんなことを要求してくるのかなど、お話ししたり動画を見てもらう方が、チラシを見て字を読むより分かりやすいと思います。私事ですが、字が小さかったりするだけで、高齢の父は読むのを躊躇してしまうことがあります。何か説明する時は、字より声なんだと思い、絵を使ったりしながら話したりしています。警察の方のお話なら真剣に聞くとおもいます。
- ・具体的な詐欺内容の事例や対応策を広める。気軽に相談できる警察官との関係作り
- ・65 歳以上がいる家庭への録音付固定電話設置の金額の補助

【つづき】

- ・犯人を検挙するのが一番効果的です。警察の面子をかけて本気で捜査してください。広報や啓蒙活動なら自治体や民間でもできます。防犯の仕組みに穴があるなら政治で変えるしかない。警察にしかできないことは捜査です。金融機関に協力してもらうとか、罔捜査してでも詐欺組織を検挙してください。
- ・高齢者が多く集まる場所やイベントなどでのチラシの配布や説明会で特殊詐欺の被害防止とそのための対策を伝える。
- ・高齢者の家を訪問し、詐欺の手口などの説明、認知とそのような事態になった時に、すぐに相談できる体制を整える。（ここに電話すればいいよなどの簡単な分かりやすいもの）
- ・地域に入って繰り返し、広報するべきだと思います。私達の地区では「どんと会」（妻が主催・サロン）で毎年1回、交番をお願いして講話を聞く会を設けています。
- ・若い方など、認知症になる前の方々への教育が必要だと思います。（認知症になってからだと、なかなか記憶に留まらないため）
- ・これまで同様にメディア、街頭などあらゆる方向から周知していく事が大事だと考えます。
- ・今流れているCMもとてもインパクトがあって良いと思います。更に、年配者が出ての寸劇等のCMも作成して、随時流せば良いと思います。その際には、地元のテレビ局のアナウンサーや岩手住みます芸人、岩手出身のタレントや俳優の方々を起用するのが、効果があると思います。
- ・「還付金がある」など、お金が戻ってくる事を電話で通知などあり得ない事だと強く言ってほしいです。
- ・テレビCMの人達に問題はないが、台本棒読みではインパクトがない。口調を呼びかけるようにメリハリが必要と思う。
- ・こういった内容で電話がくるなど思い当たれるようにするのが一番だと思う。
- ・金融機関、コンビニにおいて更なる対策・広報の周知
- ・警察には被害防止にむけて戸別訪問によるパンフレットの配布などの啓発に取り組んでほしい。
- ・特殊詐欺の進化状況を早急に公表し、最新の詐欺に対応できるように注意喚起する。
- ・こまめに巡回。警察と民間人にはやや壁がある。身近な役に立つ警察ということをこまめな巡回等で理解してもらうことが大事。そのことを通じて、相談しやすい環境づくりに傾注すべき。TVCMが無駄とは言わないが、費用をかけた割に効果は少ない。
- ・具体的な手口を伝えて、他人事にさせない。ATMに危機感を与えるポスターを貼る。
- ・警察はいつでもどこでも目を光らせている…というイメージを教える事が有効だと思います。ポスターやコンビニ、ATMコーナー等でステッカーを配る等しながら監視してもらう等もいいのでは…と思います。
- ・警察や市役所なんかを語られると信じてしまう人が多いように思う。「お金に関する話が出たら必ず窓口に行ったり、電話したりして確認すること」を徹底したらどうか？問い合わせ窓口の電話番号を各家庭に配るとか？
- ・月並みですが、やはり未然防止のためには高齢者への声かけが必要ではないかと思います。

【つづき】

- ・詐欺手口や被害内容、被害者になった時の対応策を県民に広く広報活動を行う。コンビニや銀行ATM設置場所の巡回を増やす。高齢者家庭は子供の自立や退職による社会との距離ができることにより相談できる人がそばにいない場合もあるので、いつでも不安を感じた時相談しやすいように高齢者家庭への定期的な訪問をして日頃から連絡をとりやすくする。高齢者家庭の見守りが必要。
- ・ATM、銀行の駐車場等、今まで以上にパトロールや声掛けをして、銀行の人、カメラがいつも見ている！！旨をCMで流す。
- ・具体的にどんな文言ややり方で詐欺行為をしてくるのかを広報する。高齢の親に具体的にどのように言って対策させたらいいかを広報する。誰しも自分は騙されないと思っている。騙された人を見下す風潮もあると思う。もしかしたらわたしも騙されるかもと思わせる広報が必要だと思う。騙される事で家族や親族にどんな影響があるかも具体的に知らせれば、周りも対策すると思う。
- ・問4のポスターは、「STOP」が英語だとお年寄りにはわかりにくいと思います。せめてカタカナで「ストップ」とか。
- ・メールによるフィッシングについても、周知、対策強化をしてほしいです。
- ・詐欺のCM！八重樫選手と錦木とのコラボでよくインパクトあると思います。今後、大谷選手の起用があったらとても県民が見ると思います。海外にいる大谷選手を起用するのはとても大変ですがぜひ！いつかそのような詐欺阻止CMの制作をと思います。特に大きな被害があったら、夕方のテレビ県内ニュースで即時に内容を教えてほしいです。なかなか、インターネットは開かないとみていないので知らないことが多いと思う！
- ・NTT東日本の特殊詐欺被害防止無料になる3つのサービス知らなかった。とても良いサービスだと思うのですが、申込みのが面倒だと思う人が多いかもしれない。いかに自分を詐欺から守ってもらえる良いものだという事をもっと強く印象付ける必要があるかもしれません。
- ・特殊詐欺に対する罰則をもっと重くする。
- ・はなれて生活している家族に「定期的に連絡をしよう」という感じの広報。
- ・電話がきても、「すぐに対応せず、他の人に相談をしよう」と、一人で対応しない様に注意する。
- ・固定電話で変な電話はすぐ切る。・全ておかしいと思ったら、家族に相談したり一人暮らしの人は関係機関に相談する。
- ・（5）我が家でも付けたいと思ったが、NTT東日本に加入していない電話なのでダメだった。他のメーカーでも同様の取組みをしてほしい。問5（1）POSAカードについては全く知らない。初めて聞いた言葉！訪問とは関係ありませんが、我が家にお巡りさんが来訪。詐欺師が捕まった時に私の住所と名前入りの名簿を持っていたので、今後も充分に気をつける様にと話だった。詐欺を近と感じた時だった。守られているとも感じた。
- ・今日のアンケートの最後の広告で知ったが（ナンバーディスプレイ無料）こういうサービスや広報の周知が大事だと思います。我が家ではナンバーディスプレイを利用して知らない番号は出ないようにしている。無料になるとのことで申し込もうと思っています。
- ・お年寄り宅へ訪問し、直接啓発活動。コンビニや金融機関の従業員への呼びかけ。

【つづき】

・問2の(5)は被害者を若者にして、高齢者だけが被害にあう訳ではないことをアピールした方が良いのでは？

・広報CMに八重樫さんと錦木さんが出演してくれて、とてもインパクトのある印象深いCMでとても良かったです。やはりスポーツ選手が適任だと思います。大谷選手、佐々木朗希選手、菊池雄星選手などが出演してくれたらみんな見ると思います。できればお願いしたいです。

・CMはインパクトあるが内容が伝わっているか疑問、現実に行っていることをはっきり伝える内容の方が効果的だと思います。SNS等の徹底的な取り締まりを期待します。

・銀行やコンビニ利用者への呼びかけ活動CMの頻度を増やし、多くの人に認識してもらう。

・地元駐在所から各家庭に訪問する注意喚起。

・具体的な事例をマスメディア等を利用し繰り返しPRし、注意喚起し続けることが大事です。

・今の対応でも問題はないと感じる。あとは情報を得る手段が少ない方のために家庭訪問が有効になってくるのではないかと思う。

・ニュースで詐欺被害を聞くたびに「どうして」と思いつらくなります。常に最新の手口の情報を得たいと思います。

・取り組みが、遅いと思います。

・デイサービス先で、あるいはヘルパーを利用している場合は、家事援助を受けている合間に特殊詐欺被害防止の話をしてもらえば、高齢者も日常的に気を付けていくようになるのではないかと。

又、学校教育の場でも啓発活動をしていくのが望ましい。テレビだと見過ごしてしまうこともあるが、デイサービス施設の職員あるいはヘルパーの口から直接話を聞いた方が高齢者の場合、記憶に残りやすいと思う。ラジオは年齢を問わず聞いている人が多いのでラジオでのPRは大変いいと思っています。

・実際の特種詐欺の実例（実際の被害内容・手口）を周知し、少しでも多くの人に知ってもらうことが大切だと思います。

・うまい話は疑ってかかり、家族や回りの人に相談する。その場ですぐOKを出したりせず、情報発信者の身元をよく確認、うまい話には気をつけろと自分にいい聞かせる。

・高齢者です。詐欺にあわないよう、対策等、努力していますが、小さい字は見えづらく、耳は聞こえづらく、身体、頭脳的能力が老化している現実があります。物事を正しく判断出来なくなったらどうすればよいか不安です。

・5きげんテレビやじゃじゃじゃTVなどテレビ番組と協力して詐欺の手口や対策を広報する。ゆうゆうなどフリーペーパーなどにも広報してもらう。

・「自分は騙されるはずがない」と思っている人が大半だろうから、広報を丁寧に行って成功するか疑問である。例えば、コンビニなど金融機関で、事例として「こんな内容で、お金を取られた人がいます」とポスターで紹介したらどうでしょうか？

・テレビCMだけでなく、ラジオなどでも被害額や詐欺の手口などを取り上げてほしい。

・ショッピングモール等での特殊詐欺の出張説明会、ATMコーナーの目立つ告知物、離れて住んでいる家族とのコミュニケーションを常にとるような呼びかけ。

【つづき】

- ・ギフトの販売禁止。犯罪者に重い罪を。
- ・電話帳の徹底回収
- ・実際に被害に会った人等の体験を広報して、自分に電話等を受けたときにどうするか対応策案を事前に考えてもらう。【例】「自分は大丈夫と思っていたにもかかわらず、〇〇のため信じて、詐欺被害にあった。」逆に「危なく詐欺被害を受けるところであったが、〇〇があったので被害を免れた。」という事例を広報する。”
- ・大変難しい問題だと思いますが、電子カードを購入された（購入しようとしている）高齢者全員に声掛けをし、被害を未然に防止する努力が必要だと思います。
- ・詐欺防止のため、銀行などお金をおろす際、銀行員が金の使いみちをかなり掘り下げ追求する。まるで犯人扱いのように尋問し、疑い問い詰め、自分のお金で自分のことに使うのに、とうとうおろすことができないことが何度もあった。「詳細を言わないと警察を呼ぶ」とおどされ、大変不快であり、対応の改善、指導を強く希望する。詐欺防止とはいえ、詐欺ではなく、自分自身のために使用するための払い戻しまで、行き過ぎた尋問、態度は今後十分に慎んでいただきたい。明らかに疑わしい人への対応とそうでない人への対応、きちんとした対応を指導願いたい。
- ・被害にあうのは性格とお金のある人だから、その人達をターゲットにした内容のコマーシャルが良い。
- ・特殊詐欺罪は刑法上 10 年以下の懲役、重罰であると聞いたことがありますが、詐欺容疑で逮捕された人物は比較的若者（下部組織）が多い様に感じられる、加担している若者は安易（アルバイト的）な考えで実行している者もいると思います。防止対策の意味でも、詐欺罪の量刑、重罰について具体的に広報活動してはどうでしょうか、危機感を与える（周知）必要が大いにあるのではないのでしょうか。”
- ・テレビ CM など、岩手県著名人（佐々木投手など）や岩手県知事にボランティアで出演いただき、地方局の高齢者が好きそうな番組（おぼんですいわて、ニュースプラス 1 等）の合間に放映させてもらうことにより、被害に対する予備知識を学んでもらい、犯罪被害防止を図る。
- ・相談しやすい窓口の設置
- ・固定電話への被害が多いのは毎年新電話帳配布時の旧版の回収がなされないから電話帳が流失する、事業者による回収を希望する。